

Journal of Social Policy and Social Work 2015;19:29-43.

## Monitoring Compassion Fatigue and Compassion Satisfaction of Mental Health Professionals in an Prefectural Mental Health Care Team for Eastan Japan Earthquake Disaster: Prospective Longitudinal Cohort Questionnaire Assessment

(東日本大震災における県のこころのケアチームに参加したメンタルヘルス専門家の共感疲労と共感満足度調査：前方視的長期コホート質問紙アセスメント)

### 執筆者

Yuhei Hatakenaka, Takashi Fujioka

### 概要

本研究の目的は、被災地へ出発する前、被災地での活動中、被災地での活動後に、共感疲労と共感満足度をアセスメントすることである。本研究では、援助者向けの自記式共感疲労と共感満足度テストを使用した。2011年4月から8月までの期間、東日本大震災の津波による甚大な被害を受けた地域に、県のこころのケアチームとして派遣されたメンタルヘルスの専門家を対象とした。23人の対象者は、共感疲労が減少したタイプと共感疲労が上昇したタイプの2つのタイプに分類された。本稿で、2つのタイプの特徴について論じた。